

シニア団体活動支援事業は、元気な高齢者が地域の活動に参加するきっかけをつくり、高齢者の社会参加と自主的活動を促進し、高齢者の生きがいと健康づくりを目的としております。この広報誌では、年齢を感じさせず、いきいきと活動している本事業登録団体をご紹介します。

カメさんクラブ

市町村	伊達市	会員数	11名
連絡先	024-575-5610	年齢構成	65歳～90歳
活動内容	写真撮影・写真展の開催	活動日時	月1回 撮影会・勉強会ほか 伊達市内ほか
代表者	会長 山田 茂やまだしげる	会費	1,000円/1か月+実費

〈切磋琢磨しながら撮影を続ける〉

平成5年5月に市が主催したカメラ講座の受講生が中心となり発足したのが本会である。月1回ほど撮影会が開催され、県内外の名所や年中行事に併せて会員全員で撮影に出向く。撮影した写真などを基にした「勉強会」では外部講師を招き、技術向上のための指導を受けるのが活動の中心となっている。また、地区の文化祭への参加や作品発表会などを行い、活動は年間を通して行われる。



今回お話を伺った皆さん。写真撮影には危険なこともあり、モットーは「安全第一で撮影を楽しむ」。



講師の先生の解説を聞きながら、技術力向上を目指す。写真を撮るだけでなく、次のステップを目指す。

〈レンズを通していきいきと〉

会では「カメラを通して、会員相互の親睦を図ることを目的」としている。現代の超高齢社会では年齢にとらわれず自らの責任と能力において自由で生き生きとした生活を送ることが提唱されており、「本会においてはそれが出来ているからこそ長く続いているのではないだろうか。」と会長の山田さんは話されていた。会員の皆さんも、初心者・ベテランを問わずにサポートし合いながら穏やかな雰囲気ですぐせることが本会の良さであると話されていた。入会・問合せについては、代表まで。

会長の山田茂さんは、「安心・安全に楽しく交流を図ることが大切」と話される。



きもの文化愛好会

市町村	須賀川市	会員数	5名
連絡先	0248-73-3622	年齢構成	60歳～70歳
活動内容	着物の着付け・着物知識の習得	活動日時	須賀川中央公民館 毎月第1・3水曜日 午後2時～4時 ほか
代表者	渡部よし子わたなべよしこ	会費	2,500円/1か月

〈日本人として大切にしたい「きもの文化」〉

平成21年4月から着付け教室の形で活動を始める。それは、日本人としてもっと着物に慣れ親しんでほしいという思いからであった。毎月2回2時間、代表の渡辺さんと、40年以上県内外で指導にあたる佐藤悦子さんが先生となり会員のレベルに合わせた指導を行う。また、自分で着付けた着物姿で歌舞伎観劇や須賀川市の景勝牡丹園のお茶会などに参加するなど、着物姿で楽しむことも会の活動の一つと位置付けている。



今回活動に参加されていた皆さん。前列左が代表の渡辺よし子さん、右が講師の佐藤悦子さん。

〈「きもの」を着て楽しむ日常〉

着付けとともに、マナーや場面に合わせて柄選びの知識についても活動の中で学ぶ。また、日本人としてきものを着て普段の生活に彩りを加えてほしいと、渡辺さんは話す。たとえば30年以上前の着物であっても古さを感じさせずに着ることができるのが「きもの」であり、ぜひ手元にある「きもの」を楽しんでほしいとのことである。ともすれば敷居が高そうなお「きもの」を、本会では敷居を低くして楽しめる良さを伝えていく。入会・問合せについては、代表まで。

会員の右の女性は、退職後にぜひ着付けを習いたいという思いから活動に参加したとのこと。



渡辺さんは、「どんな形でも着物を楽しむことを日本人として大切にしたい」と話される。

元気な町内会の活動報告 (高齢者支え合いコミュニティ支援事業)

福島県では平成28年度から、元気な高齢者が身近な地域で社会活動に参加するきっかけをつくり、健康でいきいきと生活している町内会の取組を支援しています。本年度の支援団体のうちから、いくつかの町内会をご紹介します。

松川地域安心・安全ネットワーク委員会 (松川地域石合町内会)

〈石合町内会について〉

福島市の南東部にあり、町内のJR松川駅周辺には工業団地がある。工業団地の発展と共に多くの勤労者が移り住み、当時の勤労者の多くが定年退職を迎えた後に、現在は町内会運営の中心を担っている。町の中でも大きい石合地区は、民生委員・老人会・婦人の会など関係する団体が連携して町内会活動を進められるよう役員のあり方の改革を行い、事務局運営を固めた上で現在は各事業を行っている。



(前列左から) 北: 町内会長の鈴木吉光さん、南: 町内会長の丹治豊三さん、石合高砂会(老人会)会長の高橋邦雄さん、婦人の会会長の広瀬真弓さん。



交流会が始まる前に、婦人の会の皆さんと参加者が一緒になって、餅を丸める作業を行った。

〈同じ松川町民として〉

1月28日、飯舘村から松川町に住む避難されている方々との交流会が行われた。婦人の会の皆さん手作りのお餅や豚汁などが振舞われ、終始和やかな雰囲気であった。今回は初めての開催であったが、想定していたよりも参加人数が少なかったのが少し残念です、と石合北町内会長の鈴木さんは話されていた。ただ、これが交流の第一歩であり、同じ地域に住む者同士で今後も末永く仲睦まじく協力し合っていきたいという思いがあると話されていた。

市町村	福島市
連絡先	(ネットワーク委員会事務担当) 024-567-5800
町内会費	9,600円 (800円×12か月)
代表	会長 丹治豊三 (たんじとよぞう)
加入世帯数	386世帯
所属人数	1,102人



交流会の余興では、婦人の会の皆さんが七福神に扮し、場を大いに楽しませていた。

守山区町会

〈守山区町会について〉

郡山市の中心市街地から東南に位置し、自然豊かな地域である。その一方で地区内に国道49号が通り、平安時代には坂上田村麻呂が蝦夷追討の際に守山城を築いたと伝えられる跡地が現在も残る歴史ある地区である。町内会加入率は92.3%を誇り、町民も各行事に非常に協力的である。

また、昨年には町内に災害復興住宅が完成し、入居者とも交流を頻繁に行い、同じ住民として地域内交流を行っている。

〈たくさんの方が集う守山町内会行事〉

毎年1月の第4日曜日に「守山小正月の集い」を開催している。午前にはだんご差し・餅つき、午後は芸能祭を行い、幼児から高齢の方まで総勢300人以上が参加する地域の大きな行事の一つである。区長の猪俣さんは「町内会事業の中心となるのは高齢者であり、その高齢者が楽しく・無理せず・末永く活動できるよう工夫をするのが町内会の役割の一つではないか。その為に区長は、町民の皆さんの話をよく聞き・よく動くことだ」と話される。たくさんの方が集まる小正月の集いには、たくさんの方の笑顔があふれていた。

市町村	郡山市
連絡先	(代表宅) 024-955-3059
町内会費	5,500円/1年
代表	区長 猪俣昭彦 (いのまたあきひこ)
加入世帯数	500世帯
所属人数	1,470人



区長の猪俣さんは、就職でこの地域に移り住んで50年。「地域の手となり、足となって動くのが役目と考える」とのこと。



地域の婦人会、青年会、消防班の多くの協力のなか、子供たちは楽しそうに餅つきを行っていた。



親戚の家に来たように集会所(守山会館)に入ってきた子供達は、慣れた手つきで団子さしを楽しんでいた。